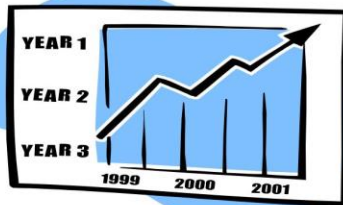


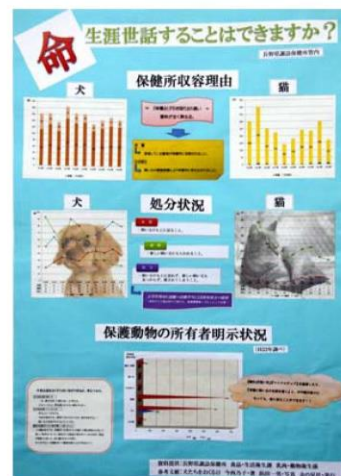
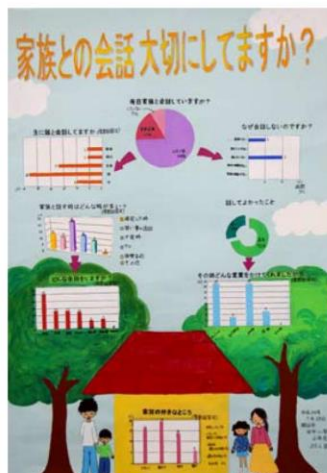
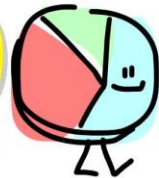
統計グラフ作品の作り方

夏休み！



小学校3～6年生向け

統計グラフに挑戦してみませんか？



統計グラフコンクールへの応募のきまり

1. 統計グラフを作るときのきまり

(1) 資料のあつめかた

☆ 第1・2部（1～4年）

●自分で観察したり、周りの人からアンケートなどをとってまとめたものに限ります。

※生活の中の身近なことについて調べるとまとめやすいかもしれません。

☆ 第3部（5・6年）

※第1・2部と同じ資料の集め方でも構いません。

※環境問題や経済・財政、介護に関する問題など、ニュースで取り上げている事柄について子どもの視点から思っていることをまとめたりすると、審査員の目にとまりやすいかもしれません。

(2) 用紙

☆ ケント紙（模造紙、方眼紙は使わない）

(3) 作品の大きさ

☆ 72.8cm × 51.5cm（B2判）

【重 要】

長野県のコンクールに出品する際、グラフのサイズも一つの審査基準となっています。
自分で色紙を切って、それをグラフに使用する場合は、
「72.8cm × 51.5cm」ぴったりになるようにして下さい。

(4) 作品につけるもの

- ☆ 作品のうらに貼付様式（氏名・住所・学校名等を記入したもの）を貼り付ける。
- ☆ 統計表をつける（観察記録・利用した資料などをA4用紙にまとめる）。

2. 準備するもの

- | | |
|-------------------|------------|
| ☆ケント紙（白またはカラーケント） | ☆絵筆（太筆、細筆） |
| ☆グラフ用紙（下書き用） | ☆鉛筆 |
| ☆カーボン紙 | ☆ものさし |
| ☆トレーシングペーパー | ☆三角定規 |
| ☆ポスターカラーなど | ☆コンパス |
| ☆はけ | ☆分度器など |



作品の作り方

1. テーマ（主題）を決めよう！！

（１）話題になっているニュースのデータを集めてまとめてみよう！

環境問題や経済問題などの社会問題や、現在ニュースや新聞で話題になっている問題は多くの人が関心を持っていることなので、作品を見る人の関心を集めます。特に５・６年生向けのテーマです。

（２）自分の興味のあること、好きなこと、得意なことをまとめてみよう！！

自分の好きなこと・興味のあることなどについて、クラスみんなにアンケートして、それを元にグラフにします。生活に密着したテーマ（学校・友だち・習い事など）を選ぶとまとめやすいかもしれません。

2. テーマについて調べよう！！

（１）自分でクラスの仲間からアンケートをとったり、観察したりする。

（２）本や雑誌、新聞、インターネットを利用して、調べてみる（図書館なども利用しましょう♪）。

【注意！】第１・２部（小学生４年生まで）については自分で調査・観察したものにかぎります。

3. 調べたことを整理しよう！

A４の用紙に調べたことを表やグラフにして整理します。次のことは用紙に書いておこう。

（１）アンケート・観察の場合、調べた時期や誰に聞いたアンケートなのか分かるようしっかり書いておこう！

（２）本、新聞、インターネットを利用した場合、資料の名前などを書いておこう！

※ここで整理したデータは、作品を作る上で大事なデータになるだけでなく、出来上がった作品の裏に貼って提出するので、作品の一部だと思って、ていねいに作りましょう！

4. タイトル・見出しをかんがえよう！

タイトルや見出しは、作品の中で１番目立つ部分であり、作品の顔と言えます！！

◆タイトル・見出しの工夫の例 ※参考タイトルをそのまま利用することのないようにお願いします。

（１）リズムカルな表現にしたり、副題をつける

例）大切にしたいね 早ね 早起き 朝ごはん

例）ストップ！地球温暖化 ～守ろうぼくたちの地球～

（２）言葉の技法を使う

①呼びかけ 動詞（～しよう。～したい）を使って作品を見る人に呼びかけよう！

②疑問型（最後に？マークをつける ～できますか？ ～していますか？）

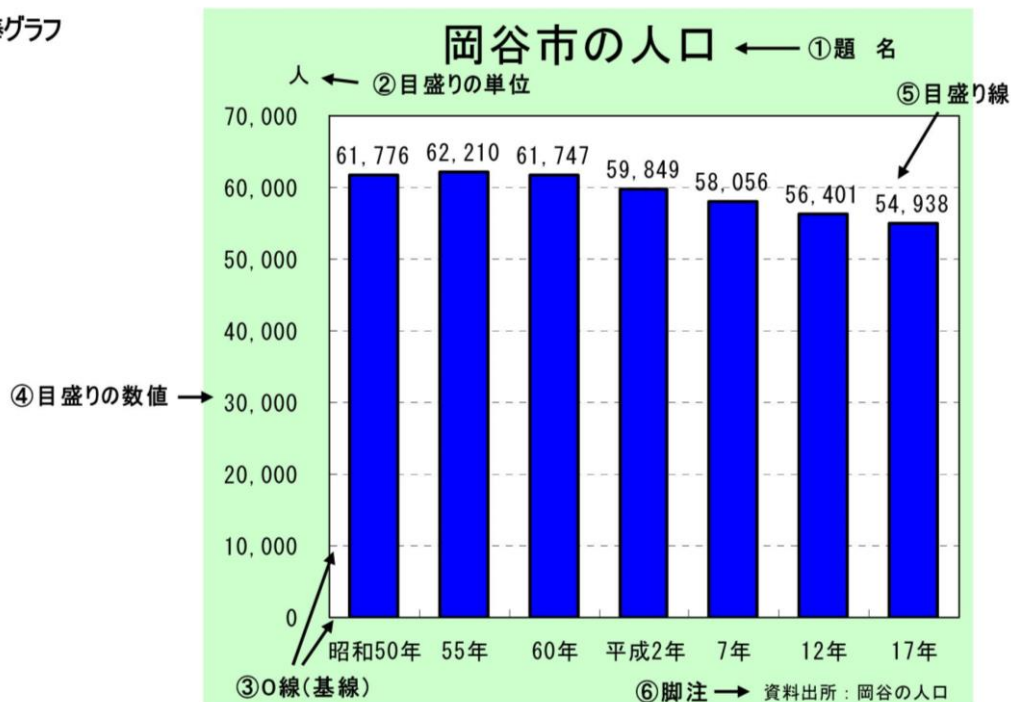
③倒置法（言葉の順序をいつもと逆にして強調する方法。インパクトが強くなる。）

例）役立てたいな 私たちの英語

⇒正しい順序は「私たちの英語 役立てたいな」になります。

5. グラフの種類を決めよう！

棒グラフ



※重要！

〇線（基線）

良い作品もこの〇線を書いていないばかりに評価が下がってしまったという事例があります。
「〇」の書き忘れに気をつけましょう！！

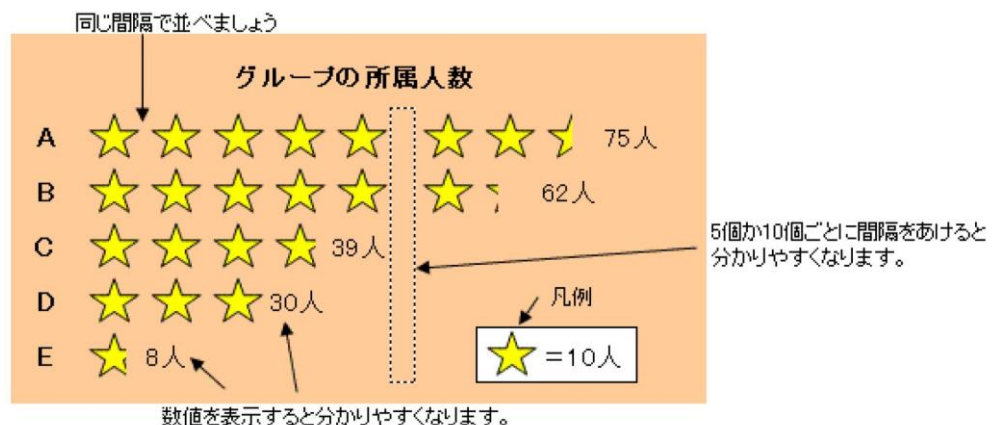
凡例、脚注、出典など

図の下の部分に書くのが原則ですが、右側、あるいは図表の中の空白部分に書いてもOKです。

絵グラフ（単位グラフ）

- 絵は同じ形、同じ大きさ、同じ単位のものでそろえましょう。
- 1単位を丸い円で表すとき、その2分の1の数字を表すときは半円の絵で表します。
- 5個か10個ごと、キリのいい数字のところで間を空けると見やすくなります。
- 1つの絵がどのくらいの数字を示すか、その凡例を必ず表示しましょう。

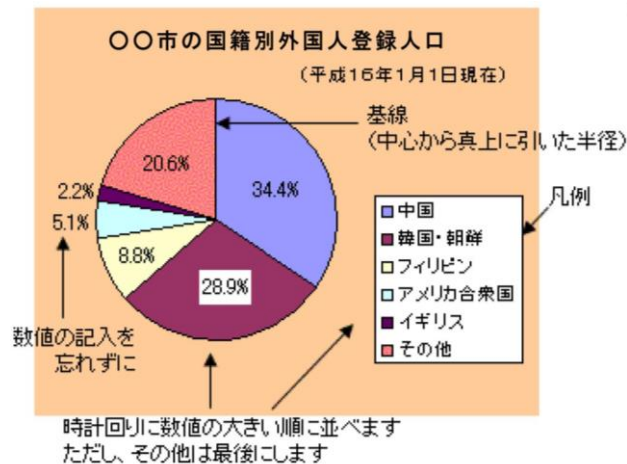
〔例〕



円グラフ

- 円グラフの基線は、円の中心から真上に引いた半径の直線とします。内訳は原則として、数量の大きい順に時計回り（右回り）に並べます。ただし「その他」の項目は最後の部分に並べましょう。
- 全ての数字を合計すると必ず100%になるようにします。

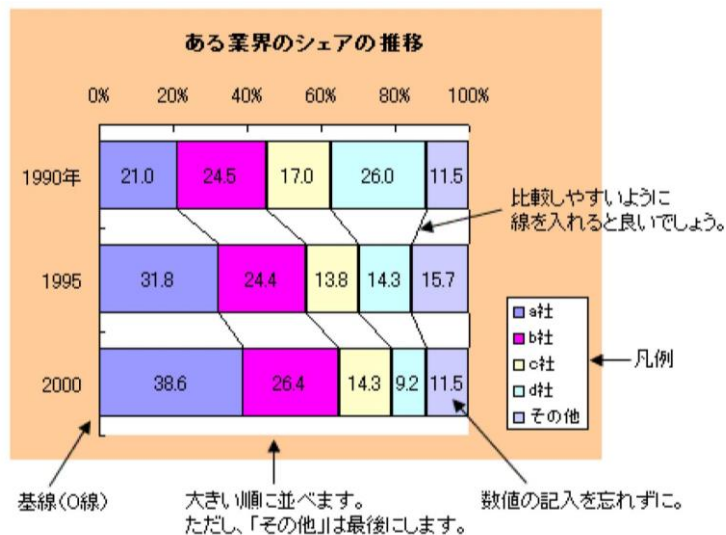
〔例〕



帯グラフ

- 帯グラフの基線は、帯が横の場合は左端、縦のときは下端とします。
- 内訳は原則として、数量の大きい順に並べます。帯が横のときは左から右へ、帯が縦のときは下から上へ並べましょう。ただし「その他」の項目は最後の部分に並べます。
- 全ての数字を合計すると必ず100%になるようにします。

〔例〕



6. 構図・レイアウトを考えよう！

用紙の中のどこにどれくらいの大きさで、見出しやグラフを配置するかをかんがえます。分かりやすく楽しいグラフになるように工夫してみてください。

7. 下書きをしよう！

いよいよ用紙にグラフを書きますが、まずは下書きをしましょう。下書きをすると、頭の中に思い描いたイメージが具体的になります。色の使い方などを考えながら下書きをしましょう。

8. 仕上げをしよう！

下書きしたものに色ぬりなどをして、作品を完成させます。色彩によって、作品のイメージは大きく変わります。色相・明度・彩度などにも気を配り、美しく仕上げます。塗った絵の具や貼り紙がはがれないように、注意しましょう。

9. もう一度チェックをしよう！

ついに、作品が完成しました。でもちょっと待って下さい！せっかくがんばって優れた作品を作っても、間違いがあると統計グラフとしての作品の評価が下がってしまいます。最後に次の点についてチェックしましょう。

- (1) 誤字・脱字、数値のケタまちがいはありませんか？
- (2) 資料などの書き落としはありませんか？数値は正しいですか？
- (3) アニメや漫画などのキャラクターの絵や写真、会社名が特定できる表現を使っていませんか？
- (4) 用紙のサイズは正しいですか？「72.8 cm×51.5 cm」(B2判)
- (5) アンケートや観察したものをまとめた資料を作品の下に貼りつけましたか？

資料が3枚以上の場合にはA4判の封筒にいれて作品と一緒に応募してください。

※(3)(4)(5)は、統計グラフコンクールに応募するときは必ずチェックしましょう。

テーマ・題名の参考例

- いそがしいのはわかるけど…
- なぜたばこをすうの
- みんな水泳だいすき
- やっぱりおてつだいには
- ありがとうがいちばん
- しぜんがいっぱい、楽しいよこみち
- あきかん、もうすてないよ
- だから友達が好き
- 救急隊のみなさん！ありがとう
- ぼくらの朝は超特急？
- ごはんちゃんと食べてる？作ってる？
- 時間を上手につかうには…
- 平成の小学生はいそがしい
- 本を読むよ！
- 視力低下に、ご用心！！
- 減らそうゴミ 活かそう資源
- 忙しい親と子
- もっと食べようお米
- わたしたちは21世紀の外交官
- パソコン時代へ突入！
- 心と心の会話 それは…ボランティア
- 働くお母さん奮闘中
- 中学への期待と不安
- 高齢者社会への危機！
- やればできる！さかあがり
- おじいちゃんおばあちゃん大好き
- がんばってます 習い事
- 3年生朝ごはんも元気です
- キャンプへいこう
- もっと作ろう！大好きなおやつ
- おべんとう大好き
- まんぞくしてます3年生のおこづかい
- かんがえよう ごみのこと
- 新聞広告 あふれる情報
- リサイクル地球にやさしくなりたいね
- ワクワクドキドキ夏休み4年生の計画
- がんばれ4年生
- 勉強はむずかしくなるけれど…
- 新聞どこ読むの？
- 雷おやじはもういない
- 輸入食品が支える日本の食卓
- 睡眠、足りてますか？
- 下校後のぼくたちの時間
- 5年生 今と昔
- 体は大きくなったけれど…
- 増えつづける車
- みんな、塾で何を勉強してる！？
- 携帯電話持ってる 使ってる？

パソコン統計グラフのご紹介♪

きみもデジタルクリエイター

統計グラフコンクールでは、パソコン統計グラフの部にて、パソコンを使って作った作品も募集しています！

「絵が不得意」でも大丈夫、センスで勝負！

○必要なもの

パソコンとプリンタ

グラフを作るためのソフト

ワープロソフト(ワードなど)

表計算ソフト(エクセルなど)

グラフィックソフト(フォトショップ、イラストレータなど)

○用紙

ケント紙(模造紙、方眼紙の使用は禁止。大きさは72.8cm×51.5cm)

○内容、審査基準

手書きの統計グラフと特に変わりません。

○その他

作品の裏には、パソコン統計グラフの部専用の出品票を貼り付けます。

(長野県のホームページにてダウンロードできます)

作ってみよう！

- ・文字を変形させたり、影をつけたり、パソコンならではの効果的な演出を心がけましょう。
- ・パソコンでグラフを作ると、様々な色のくみあわせを試すことができます。
- ・パソコンの画面の色と、プリンタで打ち出した色にはくいちがいがあることに注意！
- ・「グラデーション」という、エアブラシを使ったような効果や、グラフに影をつけることで見た目は大きく変わります。
- ・効果は使いすぎないことが大切です。見る人のことを考え、くどい表現にならないように注意しましょう。